

デジタル教科書導入による学生の学習習慣の可視化の活用

オーガナイザ：田中 雅章（大橋学園 ユマニテク短期大学）

主催者が所属する学園の看護師養成校では、平成 27 年より 1 学年約 80 名の学生がデジタル書籍配信システムを使って学習しています。現在では、教科書の 50 冊中 39 冊の約 80%の教科書のデジタル化が完了しています。さらに、教科書ばかりでなく PowerPoint や授業で配布する印刷物 390 アイテムもデジタル化されました。

このプレカンファレンスは、①導入事例の紹介、②デジタル書籍配信システムのデジタル教科書体験の 2 部構成です。①導入事例では、実際にデジタル教科書を導入するまでの 2 年間の準備事例をお話しします。次に 3 年間の利用で 450 万件になったデジタル教科書ログデータの解析結果をお話しします。具体的にはログデータを国会試験未受験群、国家試験不合格群、国家試験合格群の 3 群に分けて比較分析しました。これによって学生の学習習慣の違いを確認することができました。これまで、学生へは私たちの指導経験から学習指導をしていました。分析で得られた数値をエビデンスとして可視化が実現できました。

②デジタル書籍配信システムの説明では、デジタル教科書やデジタル教材配信の仕組みとデジタル教科書アプリの機能を説明しながら体験します。スマホをお持ちでない方のためにデジタル教科書アプリをインストールした iPad を数台準備します。2020 年から小学校でデジタル教科書が導入されます。このプレカンファレンスでデジタル教科書の機能の理解を深めたいと思います。